

「多文化共生」って何？

当事者不在の共生??

何じゃ
そりゃ？

届け！私たちの声！！

ことばを紡ぐプロジェクト

「多文化共生ってほんまにこのままでいいん？」
そう思ってるあなたが主役のプロジェクトです！

対話をもとに共生を紐解く

4回の合宿で...

合宿研修

+

フォーラム運営 (2025年2月頃)

新しい仲間と出会い、
共生に対する自分たちの考えを一
緒に言葉で表現してみませんか？

<募集対象>

外国にルーツを持つ方、
共生社会を願う日本在住の方
(18歳~30代の方)

12/20(金)
~12/22(日)(仮)
まとめる
13:00 - (翌々日)17:00
合宿全体での学びの
まとめと、フォー
ラム運営の準備を
しましょう！



プログラム詳細、
お申し込み方法については
裏面をご確認ください！！

9/14(土)
~9/16(祝月)
深める
13:00 - (翌々日)17:00
様々な素材を使って
自分たちの思いをど
う発信していくか学
んでいきましょう！



↑2024年2月
響き合う「多文化共生フォーラム」の様子

8/24(土)
~8/25(日)
学ぶ
13:00 - (翌日)17:00
専門家の話を聞いたり、
ディスカッションによる
グループワークを予定し
ています！

6/29(土)
~6/30(日)
出会う
13:00 - (翌日)17:00
まずは新しい仲間との
親交を深めましょう！
夕飯はバーベキューを
予定しています◆！

フォーラムでは...
行政関係者や共生社会分野
における研究者などをお招
きします。合宿を通して、
私たちの声を届ける準備を
しましょう！！

- ・ 宿泊費
 - ・ 食費
 - ・ 交通費
- 主催側
負担！**

そもそもどうして合宿を??

みなさんは「多文化共生」という言葉を聞いて、どのような社会を思い浮かべますか？

現在の多文化共生施策は皆さんの考える共生像を実現するのに十分なのでしょうか？
外国にルーツを持つ住民の声が反映される場所は十分にあるのでしょうか？

「多文化共生」事業の多くは、国際交流協会や行政機関主導のもとで進められますが、そこに勤める外国にルーツを持つ職員は非常に少ないのが現状です。神戸定住外国人支援センター（KFC）が2023年度に行った調査では、他者を巻き込みながら能動的に活動する人、また行政機関と外国にルーツを持つ市民の架け橋となり、当事者の声を届ける人の必要性が課題として挙げられました。

なかなか自分たちの声が反映されない今の日本社会で、漠然とした違和感や生きづらさ、不公平感をもつ当事者が多いという現状もあります。

そこで、本プロジェクトでは、「多文化共生」分野におけるセルフサポーター（共生社会の実現に向けて能動的にコミットする人）育成プログラムを行います。プログラム内容は計4回（1泊2日×2、2泊3日×2）の合宿と2025年2月のフォーラム運営です。プログラム詳細については、以下をご覧ください。

<プログラム詳細>

募集対象：今の日本社会で漠然とした生きづらさ（不安や違和感）を持つ外国にルーツを持つ方と、共生社会を願う日本在住の方（18歳以上）

募集人数：10名程度（応募者多数の場合は、申し込みの際にご記入いただく応募動機を参考に選考を行います。）

応募方法：右下のGoogle フォームQRコードからお申し込みください。

参加費：無料（合宿の宿泊費、食事代、プログラム参加にかかる交通費はこちらで負担いたします。*遠方から参加される方は要相談）

宿泊所例：しあわせの村（まだ全日程の宿泊所が確定していないため、宿泊場所については参加決定後に連絡させていただきます。）

ご質問・お問い合わせはこちらまで✉：tsumugokotoba.tsukurokyosei@gmail.com
(↑プロジェクト担当者E-mailアドレス)

↓調査初年度（2022年度）の報告書



KFCとは？

神戸定住外国人支援センター（KFC）は、1995年の阪神淡路大震災後、それまで行われていた被災外国人支援を踏まえ、定住外国人（移民）支援を目的に1997年に設立されました。KFCは、背景や文化の違いに関わらず多様性が尊重され、日本に住む全ての人の「人としての権利」が守られる社会を目指して、多くの方々の協力を得ながら活動しています。

主催/NPO法人神戸定住外国人支援センター（KFC）



特定非営利活動法人 Kobe Foreigners Friendship Center
神戸定住外国人支援センター

TEL: 078-612-2402

FAX: 078-612-3052

E-mail: kfc@social-b.net

〒653-0038 神戸市長田区若松町4-4-10 アスタクエスタ北棟502

